

支部ニュース

関西支部

昭和53年度の関西支部総会がさる4月18日に中央電気クラブ(大阪)で開催され、昨年度の事業および決算報告と本年度の予算、事業計画案が承認された。53年度の事業計画は別紙のとおりであるが、すでに5月より二つの研究部会(信頼性、ゲームの理論)が毎月1回のわりで活動を進めている。この研究部会に参加ご希望の方は、直接主査にご連絡願いたい。

支部総会では、恒例として記念講演が行なわれるが、本年度は以下のような二つの講演が行なわれ、ORと直接あるいは間接に関連する最近のトピックスに参加者は熱心に耳を傾けていた。

1. 高橋充夫氏(関西電力総合地域対策室室長)
地域とともに——これからの企業立地——
2. 手塚慶一氏(大阪大学教授)
マイクロ・プロセッサの意義と展望

1の内容は、関西電力が原子力発電所を福井県の美浜に建設した際の計画遂行過程での苦勞話であった。計画案完成後の地元住民、漁民などの反対運動と、企業側の対策、解決手段などについて語られ、将来への展望が安全性のPRを兼ねて強調された。

編集後記 ▼編集委員会の構成は、どうしても東京近辺在住者が中心となり、そのために残念ながら原稿の執筆をお願いする方の地理的分布にも偏りが生じがちになります。これを少しでも是正しようと、今回の特集の企画は京都大学の三根先生にお願いし、関西の方々を中心にして執筆していただきました。有益な信頼性特集ができたことを感謝しています。ただし、今月号も一向に

2の内容は、最近テレビゲームその他で脚光をあびているマイクロコンピュータの原理とその価値および将来性、とくに中、大型計算機との関連性などについて、初心者にも理解できるように述べられた。

以上の計画案に沿った講演会、研究会に加えて、6月6日に関西情報センターとの共催で Kadane 氏(カーネギーメロン大学)の特別講演会が通訳付きで行なわれた。講演内容は、「Optimal preemptory challenges in trials by juries」なる題目で、米国の裁判における陪審員選出の局面を、逐次決定問題(2人非協力ゲーム)として定式化したものである。内容が特殊で、大学関係者向きであったため、参加人数は余り多くなく、また参加者の多くが居眠りをしてしまった事実を考えると、外国人講演には十分なアセスメントが必要だと思われた。

(西田, 田畑)

昭和53年度関西支部事業計画

1. 総会記念講演会の開催
2. 支部大会の開催 9月22日を予定
○京都大学教授 榎木義一氏の講演
○IFORS参加者によるORの動向について
3. OR研究講演会の開催(4回を予定)
担当主査
秋葉博氏(神戸商大), 長谷川利治氏(京大)
後藤昌司氏(ソオノギ), 中野友次氏(松下電子)
4. 研究部会の開催
(i) 信頼性(担当主査, 三根久氏)
(ii) ゲームの理論(担当主査, 坂口実氏)

衰えない猛暑の中での出張校正で、校正の方の信頼性にはいささかの不安を感じていますが……。

▼「学会の在り方」についてのアンケート調査の結果を拝見しますと、会誌についてのご不満が多いようで、編集委員会の努力不足を反省しています。ご不満の点をできるだけ具体的にお知らせくだされば、ご要望に添うように努力しますので、ご協力をお願いします。(I)

オペレーションズ・リサーチ

昭和53年9月号 第23巻(新シリーズ第3巻) 9号 通巻213号

代表者 小林宏治

発行所 社団法人日本オペレーションズ・リサーチ学会

〒113 東京都文京区弥生2-4-16 学会センタービル
(電話 03-815-3351~2)

編集人 奥野忠一

発売所 株式会社日科技連出版社

〒151 東京都渋谷区千駄ヶ谷5-4-2

本誌のご注文は直接

日本オペレーションズ・リサーチ学会へ

定価 650円(郵送料含)年間予約購読料 7,200円(郵送料含)

本誌への広告お申し込みは日経弘報社(563-2241)、明報社(571-2548)へ